

## リハビリテーション治療学特講

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○永見慎輔 nagami@hoku-iryo-u.ac.jp 鈴木瑞恵 飯泉智子

### 【概要】

摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究法について、先端的論文を購読することにより学ぶ。

### 【学修目標】

一般目標：摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究方法について説明できる。

行動目標：

1. 摂食嚥下障害の病態、検査、治療に関する最新の研究について文献を参照し、解釈できる。
2. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文と、実際の臨床上の課題を結びつけることができる。
3. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文を基にディスカッションをおこない、レポートにまとめ、プレゼンテーションをおこなえる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、スケジュール、購読すべき文献を提示し、今後の進め方を説明する。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子
2~13	摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害の病態、検査法、治療に関する論文を提示し、教員とともに購読し、研究法を学ぶ。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子
14・15	まとめ	購読した論文に関するレポートを提出、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

レポート（80%）

講義中のディスカッション（20%）

### 【教科書】

指定しない。学術雑誌、論文を指定する。

### 【学修の準備】

1. 関連する文献、参考書を読み予習しておくこと（80分）。
2. 配布プリント、参考書で復習し理解を深めること（80分）。

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域において、学際的視点を活かしながら、先進的かつ独創的な研究を自律的に遂行するための高度な学識と研究能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

### 【実務経験】

永見慎輔、鈴木瑞恵、飯泉智子（言語聴覚士）

### 【実務経験を活かした教育内容】

永見慎輔、鈴木瑞恵、飯泉智子：医療機関における臨床業務経験および大学における教育・研究経験をもとに講義を行う。